3318	小川卓也(他22名)	ブロッコリー	おはよう 他

施肥　有機質・土壌改良剤・化学肥料など（購入の場合はメーカー名記入）

＜土づくりの使用資材・肥料について＞

使用量はkg/10a

商品名	原料	メーカー(購入先)	全N%	化成N%	全P%	化成P%	全K%	化成K%	有機率(%)	使用目的	計画 使用量	計画 使用時期	計画 回数	計画 化成窒素kg	実績 使用量	実績 使用時期	実績 回数	実績 化成窒素kg
産直有機8-8-5	ホルムアルデヒド加工尿素肥料・化成肥料・窒素加里・肉骨粉・魚かす粉末・菜種粕粉・なたね油かす及びその粉末	大東肥料(株)	8	2.4	8		5		80	元肥	160	8月	1	3.8				
苦土石灰	石灰石原石・ドロマイト原石	九州日紅							100	土壌改良	160	8月	1	0.0				
カキライム	カキ殻	日化工業							100	土壌改良	200	8月	1	0.0				
アグリハーモニー2号	水溶性苦土・水溶性微量要素・ケイ素	三菱商事アグリサービス(株)	0							元肥	120	8月	1	0.0	120	8/17	1	0.0
グリーンコンポ	鶏糞	秋川牧園							100	元肥	400	8月	1	0.0				
アミノ職人7-7-7			7	3.3	7		7		37.1	元肥	200	8月	1	6.6	160	8/17	1	5.3
消石灰										土壌改良	140	8月	1	0.0	134	8/2	1	0.0

【慣行農法との比較】

*化学肥料

窒素分で比較して　当地比　5 割減

化学肥料	窒素使用量(kg/10a)
慣行使用量	24
計画使用量	12

*節減対象農薬

当地比　5 割減

節減対象農薬	計画使用回数	地域の慣行防除
土壌消毒剤		
除草剤		
殺虫剤		
殺菌剤		
その他薬剤		
合計	8	18

病虫害の防除　使用した天然防除資材・自作資材・農薬（成長調整剤、展着剤等を含む）

使用量/10a

分類	商品名	原料/成分名	メーカー(購入先)	使用目的	計画 希釈倍率	計画 使用量	計画 使用時期	計画 回数	計画 カウント	実績 希釈倍率	実績 使用量	実績 使用時期	実績 回数	実績 カウント	使用回数上限 商品	使用回数上限 成分
殺菌	Zボルドー	塩基性硫酸銅		軟腐病・斑点細菌病・べと病・黒腐病・褐斑細菌病	500	100～300ℓ	随時	2	0	500	267L	10/13	1	0	－	－
殺菌	スターナ水和剤	オキソリニック酸		軟腐病・黒斑細菌病・花蕾腐敗病	2000	100～300ℓ	随時	1	1						2	2
殺菌	ナレート水和剤	オキソリニック酸・有機銅		軟腐病	1000	100～300ℓ	随時	1	2						2	2,2
殺菌	レーバスフロアブル	マンジプロパミド		べと病	2000	100～300ℓ	随時	1	1						2	2
殺菌	オラクル顆粒水和剤	アミスルブロム		根こぶ病	200～500	※1	随時	1	1						1	7
殺菌	アフェットフロアブル	ペンチオピラド		菌核病・黒すす病・根朽病	2000	100～300ℓ	随時	1	1	2000	100L	9/11	1	1	3	3
殺菌	パレード20フロアブル	ピラジフルミド		菌核病・黒すす病	2000～4000	100～300ℓ	随時	1	1						3	3
殺菌	ピシロックフロアブル	ピカルブトラゾクス		ベト病	1000	100～300ℓ	随時	1	1						2	2
殺菌	コサイド3000	水酸化第二銅		花蕾腐敗病	1000	100～300ℓ	随時	1	0						－	－
殺菌	ヨネポン水和剤	ノニルフェノールスルホン酸銅		ベト病・黒腐病	500	100～300ℓ	随時	1	1						4	4
殺菌	フジドーLフロアブル	塩基性硫酸銅		黒斑細菌病	500	100～300ℓ	随時	1	0						－	－
殺菌	ファンタジスタ顆粒水和剤	ピリベンカルブ		菌核病・黒すす病	3000	100～300ℓ	随時	1	1	3000	200L	9/26	1	1	3	3
殺虫	コルト顆粒水和剤	ピリフルキナゾン		アブラムシ類	4000	100～300ℓ	随時	1	1	4000	267L	10/13	1	1	3	3
殺虫	ウララDF	フロニカミド		アブラムシ類	2000～3000	100～300ℓ	随時	1	1						2	2
殺虫	ヨーバルフロアブル	テトラニリプロール		コナガ・アオムシ・ハイマダラノメイガ・ハスモンヨトウ・アブラムシ類・ネキリムシ類	200	※2	随時	1	1						1	4
殺虫	ヨーバルフロアブル	テトラニリプロール		アザミウマ類・コナガ・アオムシ・ハイマダラノメイガ・ヨトウムシ・ハスモンヨトウ・シロイチモジヨトウ・ウリバエ類・アブラムシ類	2500～5000	100～300ℓ	随時	1	1						3	4
殺虫	アファーム乳剤	エマメクチン安息香酸塩		コナガ・アオムシヨトウムシ・オオタバコガ	1000～2000	100～300ℓ	随時	1	1						3	3
殺虫	ファームエクセラ顆粒水和	エマメクチン安息香酸塩・ルフェヌロン		アオムシ・ハスモンヨトウ・コナガ・ハイマダラノメイガ	1000～1500	100～300ℓ	随時	1	2						3	3,3
殺虫	プレオフロアブル	ピリダリル		コナガ・ハスモンヨトウ	1000	100～300ℓ	随時	1	1						2	2
殺虫	プレバソンフロアブル5	クロラントラニリプロール		コナガ・アオムシハスモンヨトウ	100	※3	随時	1	1	100	0.5L	8/26	1	1	1	4
殺虫	プレバソンフロアブル5	クロラントラニリプロール		コナガ・アオムシハスモンヨトウ	2000	100～300ℓ	随時	1	1	2000	267L	10/13	1	1	3	4
殺虫	アクセルフロアブル	メタフルミゾン		ヨトウムシ・ハスモンヨトウ	1000～2000	100～300ℓ	随時	1	1						2	2
殺虫	アクセルフロアブル	メタフルミゾン		コナガ	1000	100～300ℓ	随時	1	1						2	2
殺虫	グレーシア乳剤	フルキサメタミド		ウワバ類・コナガ・キボシアミガ・ヨトウムシ・ハスモンヨトウ・アオムシ・オオタバコガ・ハイマダラノメイガ	2000～3000	100～300ℓ	随時	1	1	2000	200L	9/26	1	1	2	2
殺虫	フェニックス顆粒水和剤	フルベンジアミド		コナガ・ヨトウムシ・ハイマダラノメイガ・ハスモンヨトウ	2000～3000	100～300ℓ	随時	1	1						2	3
殺虫	ゼンターリ顆粒水和剤	バチルス・チューリンゲンシス菌の生芽胞および菌生産晶体蛋白		コナガ・オオタバコガ・ヨトウムシ・ハスモンヨトウ・シロイチモジヨトウ・アオムシ	1000～2000	100～300ℓ	随時	1	0						－	－
殺虫	チューンアップ顆粒水和剤	バチルス・チューリンゲンシス菌の生芽胞および菌生産晶体蛋白		コナガ・ヨトウムシ・ハイマダラノメイガ・オオタバコガ・アオムシ・ウリノメイガ	2000～4000	100～300ℓ	随時	1	0						－	－

※1 ｾﾙ成型育苗ﾄﾚｲ1箱またはﾍﾟｰﾊﾟｰﾎﾟｯﾄ1冊(30×60cm、使用土壌約3～4L)当り500ｍｌ
※2 ｾﾙ成型育苗ﾄﾚｲ1箱またはﾍﾟｰﾊﾟｰﾎﾟｯﾄ1冊(約30×60cm、使用土壌約1.5～4L)当り0.5L
※3 セル成形育苗トレイ1箱又はﾍﾟｰﾊﾟｰﾎﾟｯﾄ１冊（約30×60cm、使用土壌約1.5～4ﾘｯﾄﾙ）当たり0.5ﾘｯﾄﾙ

備考:

品種のリレーについて
ピクセル→SK9-099→アーリーキャノン→サマードーム→恵麟→おはよう→プライム(試作)→すばる(試作)
→しき緑→アーサー→グランドーム→むつみ

播種日の関係から、今期最初は「おはよう」からのスタート。以降は、上記リレー順での収穫予定。

リストの中から、最大で化成窒素量12kg/10a、節減対象農薬8回(成分カウント)までの使用。
(上記基準としていますが、実際は10kg/10a、6回程度で収まります。)

肥料・農薬は、川村良栄さんの圃場(127a)の栽培実績です。
5.3kg、6回。 2024/10/22現在。
川村さんの作業計画　耕起 8/2～9/15、播種 7/22～8/1、定植 8/19～9/18、収穫 10/24～2/20

	計画(作業、施肥、防除など)	実績(作業)	実績(施肥)	実績(防除)
1月	収穫			
2月	収穫			
3月	収穫終了 ～R7.3/10			
4月				
5月				
6月				
7月	播種	播種 7/22～		
8月	播種、耕起、施肥、定植	播種 ～8/25、耕起 8/2～、定植 8/19～	消石灰、アグリハーモニー、アミノ職人	プレバソンF
9月	耕起、定植、防除	耕起、定植		アフェットF、ファンタジスタ、グレーシア
10月	耕起、定植、収穫開始、防除	耕起 ～10/10、定植 ～10/15、収穫開始 10/24～		Zボルドー、コルト顆粒水和剤、プレバソンF
11月	収穫、防除			
12月	収穫			

耕起開始:	令和6年8月2日
終了:	令和6年10月10日
播種開始:	令和6年7月22日
終了:	令和6年8月25日
定植開始:	令和6年8月19日
終了:	令和6年10月15日
収穫開始:	令和6年10月24日
終了:	令和7年3月10日